

後、19年間、山岳部の極貧の地域と近接する地域に住む人々の医療活動を行ってきた。現在、1000力所以上で、25万人の村人が、中村医師らが掘った井戸から水を得ている。また灌漑用水路づくりや農村社会の自立を目指している。

20 中村哲氏受賞

2003、9、14 新聞
マグサイサイ賞

「ペシヤワール会」現地代表の中村哲医師(56)＝日本バプテスト連盟香住ヶ丘教会員＝が8月31日、フィリピン・マニラで、今年度のラモン・マグサイサイ賞(平和・国際理解部門)を受賞した。同賞は「アジアのノーベル賞」と言われ、フィリピンのマグサイサイ財団が57年に創設、6分野で活躍するアジアの人・団体を対象として授与している。

中村医師は九州大医学部を卒業後、84年、日本キリスト教海外医療協力会からパキスタンのペシヤワールに派遣され、以